



千葉大学医学部・病院 150周年記念
タイアップ企画

メディカルトレイン & ミニ健康講座

創立 150 周年を迎えた千葉大学医学部および附属病院と
いすみ鉄道のタイアップ企画がスタートします！
「地域の皆さまに健康で暮らしていただきたい」と願いを込めて
ヘッドマークやラッピングを施した電車に乗りながら
病院や医療について理解を深める
メディカルトレインが走ります！



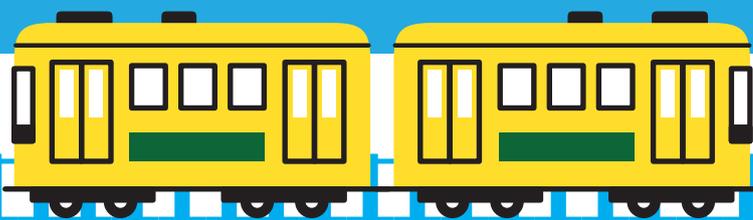
千葉大学病院の医師が「ミニ健康講座」を開催！
2024年7月10日(水) 会場：大多喜商工会 会館

- ①14:00～ 千葉大学病院の総合診療医・上原孝紀医師が病気のサインや予防方法について、わかりやすくお話しします。
- ②15:00～ いすみ医療センターに勤務する磯野史朗医師（千葉大学名誉教授）が『健康な眠り：いびきは万病のもと！』と題してお話しします。

参加無料
予約不要



千葉大学マスコット
イン



デンタルサポート
おおたき
大多喜
← しろみがおか こやまつ →
千葉県夷隅郡大多喜町大多喜 264
いすみ鉄道株式会社

診断がつかない人のために ～大学病院の総合診療医～

総合診療医は、国民の健康をワンストップで支える医療パートナーです。体調が悪い、あるいは家族や友人が体調を崩したといった場合に、どのような対処を取ればよいのか、悩むことはありませんか？総合診療医は、このような急な病気はもちろん、普段から健康について何でも相談できる医療パートナーとなるべく研鑽を積んでいる医師です。千葉県内では現在、当院を含め、15の医療機関に「総合診療専門医」がいます。そして千葉大学病院総合診療科では、「どの病院や診療科に行っても、病名や原因が判明しない」患者さんを対象に、セカンドオピニオン外来（自費外来）で問診と身体診察を重視した診断に特化した診療を行っています。受診される患者さんの多くは、他院から紹介された診断不明とされた難解症例の方です。当科で診断を検討し、必要に応じて他の診療科や医療機関で治療をしていただいています。本講座では、総合診療科の役割をお伝えするとともに、病気のサインや予防法について、わかりやすくお話しします。

千葉大学病院 総合診療科

上原 孝紀 医師



診断に特化したセカンドオピニオン外来で、総勢21人の医師がチームで診療にあたっています



くわしくは千葉大学病院公式サイトのご確認ください。→

健康な眠り：いびきは万病のもと！



大多喜高校の
卒業生です！

いすみ医療センター
(千葉大学名誉教授)
磯野 史朗 医師

睡眠に満足されていますか？良い眠りは健康維持にはとても大事です。いびきは良く眠れている証拠のようですが、実は慢性的な睡眠障害の原因となる睡眠時無呼吸症を発見する大事な症状です。この病気は放置すると高血圧や脳卒中など成人病をひき起こします。男性ばかりでなく、中年以降の女性にも多く認めます。肥満ばかりでなく、歯並びが悪くあごの発育が十分でない場合もこの病気のリスクを高めます。無呼吸症のリスクを横顔などで簡単に見分ける方法や最新の治療方法などをご紹介します。

150周年記念メディカルトレイン

運行期間：7月11日～8月31日

※運行期間は予定であり、予告なく変更・中止となる場合があります。

150周年記念ロゴマークを掲げたヘッドマークと千葉大学マスコットのイノがデザインされたラッピングのほか、健康や医療に関する千葉大学医学部・病院からのメッセージが車内に掲示されます。



千葉大学マスコット イノ

みんなで
乗りに来てね！